

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	すたぁりっと ジュニア 東住吉		
○保護者評価実施期間	～		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	0	(回答者数) 0
○従業者評価実施期間	R8年 2月 2日 ～ R8年 2月 11日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 2月 21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	SSTを用いた訓練を1日30分間を2回行っている。 6つの基本スキルを身につけることによって社会生活を円滑に送ることができ、困難を減らすことにつながる。 SSTで訓練できたことを、イベントで実践している。	毎月スケジュールを立てて、様々な訓練を計画して、参加してもらえるよう考えている。 会話、相手の感情理解、頼み方、断り方、感情のコントロール、報告・連絡・相談がうまくできるようになるような訓練を取り入れている。	職員のレベルの差を作らないように、勉強会を行ってレベルアップを図っている。
2	昨年から訓練の中にPBSの考えを取り入れて行っている。	PBSの基本原則: 個人のニーズ、好み、目標を理解することに重点を置いている。 研究と実証された方法論に基づいている。 問題行動に反応するのではなく、問題行動を予防することに重点を置いている。 エンパワーメント: 自立と自己決定を促進するスキルの構築を目指す。 月に一度研修を実施して上記内容を支援に取り入れるように話合っている。	PBSの研修を通じて、個別にアセスメントをとることができている。
3	PBSを導入して、専門的で効果的な支援を行っている。	事例検討を定期的を実施し、個別の課題に応じた支援を職員間で共有している。	共通の課題を持つ複数の対象者に向けた支援を対応する職員が変わっても実践できるようにする。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・洗面台やトイレが訓練室外にあるため、通所の準備や排泄の際に移動を要し、職員が都度声を掛け合っている。	・ドアの前や廊下で子ども同士が混雑することがあるため、ロールプレイにて右側通行や、順番、整列のプログラムを実施してドアは職員が開け閉めすることを伝えている。	・排泄や手洗いの際は必ず職員が側に付き見守りを行っている。 ・プログラムにて訓練室内の過ごし方を都度知らせるようにする。
2	・高学年との体格差や遊びの差が見られる。また、ロールプレイではひらがなが読める必要がある。	ひらがなを読めるようになるために、個別課題に取り組む必要があるが、個々の能力や家庭への協力が必要となるため	家庭と連携を図りながらロールプレイに参加できるように声を掛けていく。また、視覚支援を用いながら対応を実施する必要がある。
3			

公表

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

事業所名 すたぁりっとジュニア 東住吉

公表日 R8年 2月 28日

利用児童数 0

回収数 0

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。					児童発達の利用者がいないため回答なし	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。					児童発達の利用者がいないため回答なし	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。					児童発達の利用者がいないため回答なし	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。					児童発達の利用者がいないため回答なし	
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。					児童発達の利用者がいないため回答なし	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。					児童発達の利用者がいないため回答なし	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。					児童発達の利用者がいないため回答なし	
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。					児童発達の利用者がいないため回答なし	
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。					児童発達の利用者がいないため回答なし	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。					児童発達の利用者がいないため回答なし	
保 護 者 へ の 説 明 等	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。					児童発達の利用者がいないため回答なし	
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。					児童発達の利用者がいないため回答なし	
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。					児童発達の利用者がいないため回答なし	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。					児童発達の利用者がいないため回答なし	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。					児童発達の利用者がいないため回答なし	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。					児童発達の利用者がいないため回答なし	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。					児童発達の利用者がいないため回答なし	
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。					児童発達の利用者がいないため回答なし	
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。					児童発達の利用者がいないため回答なし	
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。					児童発達の利用者がいないため回答なし	

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。					児童発達の利用者がいないため回答なし	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。					児童発達の利用者がいないため回答なし	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。					児童発達の利用者がいないため回答なし	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。					児童発達の利用者がいないため回答なし	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。					児童発達の利用者がいないため回答なし	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。					児童発達の利用者がいないため回答なし	
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。					児童発達の利用者がいないため回答なし	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。					児童発達の利用者がいないため回答なし	
	29	事業所の支援に満足していますか。					児童発達の利用者がいないため回答なし	

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名	すたぁりっとジュニア 東住吉		公表日 令和8年 2月 28日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	4		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	4	マットを色分けしている。	訓練室のマットを定期的に張替える必要がある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	3	掃除は気を配っている。 アルコール清拭を定期的に行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	個別の面談室が使用できる。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	1		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	職員会議を月1回、支援会議を月1回 PBSの会議を月1回実施している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	3	PBSの会議がその機会になっている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	必須研修を毎月行っている。	個別にある研修で、事業所外へ行っている時に他職員の負担がかかることがあるため、事前に役割を分ける必要がある。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	作成し、配布している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	2カ月前に職員で案を出し合い作成している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1		職員と声を掛け合って内容を増やしていく必要がある。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	基本は集団支援なので、その中で行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	振り返りを行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	サービス提供記録を作成し、共有している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	6か月ごとに行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	3		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	3		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0	7		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	2	送迎の時にある。 すたありっと1stの利用児と合同イベントで接する機会があった。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	気づきがあれば、その都度連絡している。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	7			
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	聞き取りをしている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0		

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	7	父母の会などの支援は行っていない。 兄弟同士の交流はある。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	真摯に向き合っている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	法人を通して行っている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	職員に周知徹底している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	絵カードなどを利用している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	7	招待することはないが、参加することはある。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	マニュアルを策定し、訓練も行っている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	マニュアルを策定し、訓練も行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	契約時アセスメントで聞き取りを行っている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	保護者からの聞き取りで、食物アレルギーがある子供には、適正に管理している。医師の指示書が出されていないことはない。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1	安全計画は作成している。	安全管理について職員会議・プログラム等で周知、実践しているが、イレギュラー時にはその通りにいかないことも踏まえ、今後も色んな事例を話し合い、改善する必要がある。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1	周知してもらえるように、書面を配布している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	3か月ごとに、ヒヤリハット報告書に基づいて再発防止のために事例検討会を行っている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	年1回以上全職員に向けた研修を行っている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0	拘束することはありませんと、個別支援計画書に明記している。		